

貸借対照表

平成30年3月31日現在

単位：円

科 目	当 年 度	前 年 額	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	50,000	50,000	0
普通預金	12,622,535	12,442,500	180,035
流動資産合計 (A)	12,672,535	12,492,500	180,035
2 固定資産			
(1) 特定資産			
借室料支払積立定期預金	2,134,686	2,134,505	181
退職手当積立定期預金	3,481,000	2,886,000	595,000
特定資産合計 (B)	5,615,686	5,020,505	595,181
(2) その他固定資産			
備品	39	40	△ 1
電話加入権	160,000	160,000	0
敷金	810,000	810,000	0
その他固定資産合計 (C)	970,039	970,040	△ 1
固定資産合計 (D)=(B)+(C)	6,585,725	5,990,545	595,180
資産合計 (E)=(A)+(D)	19,258,260	18,483,045	775,215
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	201,925	0	201,925
預り金	792,976	349,277	443,699
流動負債合計 (F)	994,901	349,277	645,624
2 固定負債			
退職給付引当金	3,481,000	2,886,000	595,000
固定負債合計 (G)	3,481,000	2,886,000	595,000
負債合計 (H)=(F)+(G)	4,475,901	3,235,277	1,240,624
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計 (I)	0	0	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計 (J)	14,782,359	15,247,768	△ 465,409
(うち特定資産への充当額)	(2,134,686)	(2,134,505)	(181)
正味財産合計 (K)=(I)+(J)	14,782,359	15,247,768	△ 465,409
負債及び正味財産合計 (L)=(H)+(K)	19,258,260	18,483,045	775,215

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

単位：円

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	手許現金有高	50,000	
普通預金	北洋銀行本店営業部	12,622,535	
流動資産合計	(A)		12,672,535
2 固定資産			
(1) 特定資産			
借室料支払積立定期預金	北洋銀行本店営業部	2,134,686	
退職手当積立定期預金	北洋銀行本店営業部	3,481,000	
特定資産合計	(B)	5,615,686	
(2) その他固定資産			
備品		39	
電話加入権		160,000	
敷金	昭和ビル㈱	810,000	
その他固定資産合計	(C)	970,039	
固定資産合計	(D)=(B)+(C)		6,585,725
資産合計	(E)=(A)+(D)		19,258,260
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	札幌西年金事務所	194,560	
	NTTコミュニケーションズ	2,052	
	NTTファイナンス	5,313	
預り金	技能検定受検手数料	721,200	
	社会保険料	39,156	
	源泉所得税	32,620	
流動負債合計	(F)		994,901
2 固定負債			
退職給付引当金		3,481,000	
固定負債合計	(G)		3,481,000
負債合計	(H)=(F)+(G)		4,475,901
正味財産	(I)=(E)-(H)		14,782,359

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 計算書類及びその附属明細書の作成基準
一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して作成している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法により減価償却費を計上している。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額の97%の金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
借室料支払積立定期預金	2,134,505	181	0	2,134,686
退職手当積立定期預金	2,886,000	595,000	0	3,481,000
小 計	5,020,505	595,181	0	5,615,686
合 計	5,020,505	595,181	0	5,615,686

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	うち		
		指定正味財産 からの充当額	一般正味財産 からの充当額	うち 負債 に対応する額
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
借室料支払積立定期預金	2,134,686	0	(2,134,686)	-
退職手当積立定期預金	3,481,000	0	-	(3,481,000)
小 計	5,615,686	0	(2,134,686)	(3,481,000)
合 計	5,615,686	0	(2,134,686)	(3,481,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備品	2,993,800	2,993,761	39
合 計	2,993,800	2,993,761	39

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

2 引当金の明細

単位：円

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,886,000	595,000	0	0	3,481,000
合 計	2,886,000	595,000	0	0	3,481,000